

株式会社ベルーフ

Company Profile

使命に生きる人を社会へ送り出し、
いつでも帰れる場であり続ける。

Beruf Co., Ltd.

V I S I O N

使命に生きる人が互いに支え合い、
価値が循環し合う社会。

それが、
ベルーフが目指している社会です。

| ベルーフとは

ベルーフ (Beruf) とは、
ドイツ語で「使命」や「召命」を意味する言葉です。

株式会社ベルーフは、
責任ある立場にある個人や組織の意思決定に伴走する会社です。

経営者、リーダー、専門職など、重要な判断を担う人ほど、
立ち止まり、思考を整理する時間を持つことが難しくなります。

ベルーフでは、対話を通して思考を深め、
価値やビジョンを言語化しながら、
それぞれの役割を社会の中で実装していくことを支援しています。

| このような方へ

ベルーフは、
責任ある立場で意思決定を担う方のための対話の場です。

たとえば、次のような方です。

- ・ 経営者として重要な判断を担っている方
- ・ 組織やプロジェクトを率いているリーダー
- ・ 専門性をもって社会に価値を届けている実践者
- ・ 人生や仕事の節目に立ち、自分の役割を見つめ直している方

役割を担う人ほど、
立ち止まり、思考を整理する時間を持つことが難しくなります。

ベルーフでは、
対話を通して思考を深めながら、
自らの軸で次の一歩を決めていく時間を大切にしています。

| ベルーフの航海

人は、人生のある時期に立ち止まる瞬間があります。

これまで進んできた道を振り返り、
これからどこへ向かうのかを考えるときです。

役割が変わるとき。責任が大きくなるとき。
あるいは、これまでの生き方を問い直すとき。

そのとき、多く人は「もっと頑張る方法」ではなく、
自分の進む方向そのものを考え始めます。

ベルーフは、そうした人生の節目にある人が、
自分の価値観を見つめ直し、自らの役割を言葉にし、
次の一歩を決めていく対話の場を提供しています。

私たちは、答えを与えることを仕事にはしていません。
人は本来、自分の中に判断軸を持っていると考えているからです。

対話を通して思考を深めることで、
その軸は少しずつ言葉になり、やがて行動へとつながっていきます。

人生を航海にたとえることがあります。
順風のときもあれば、海が荒れるときもあります。
思うように進まない時期もあります。
それでも、人は自分の役割を引き受けるとき、再び進み始めます。

ベルーフが大切にしているのは、その航海に寄り添うことです。
誰かの人生を代わりに決めるのではなく、
その人自身が進む方向を見つけていく過程に伴走すること。

帆を張る人と、共に航海する。
それが、ベルーフの仕事です。

| 提供している支援

対話と伴走支援を基盤に、
個人と組織の意思決定に伴走しています。

マンスリーセッション（個人）

エグゼクティブコーチング（法人）

伴走型コンサルティング

コミュニティ運営

マンスリーセッション（個人）

内容	60分セッション（オンラインまたは対面） 守秘義務に基づくパートナー関係（ICF倫理規定準拠） 365日の個別チャット伴走（返信は平日対応）
目的	思考を構造化し、優先順位を整理し、いま必要な決断を明確にします。 短期の課題に向き合いながら、同時に、将来につながる軸を整えていきます。
料金	月1回：33,000円 / 月2回：66,000円 (税込)

エグゼクティブコーチング（法人）

対象	経営者・組織リーダー向け
内容	90分セッション（オンラインまたは対面） 守秘義務に基づくパートナー関係（ICF倫理規定準拠） 365日の個別チャット伴走（返信は平日対応）
目的	対話を通して思考を深め、意思決定を整える。 責任を担う立場にある方が、自らの軸で選び取り続けられる状態を支援します。
料金	内容に応じて個別にご提案いたします

伴走型コンサルティング

個人向け：60分セッション（月2回～）

法人向け：90分セッション（月2回～）

内容

守秘義務に基づくパートナー関係（ICF倫理規定準拠）
365日の個別チャット伴走（返信は平日対応）

※継続伴走を前提としたセッションです

目的

対話と伴走支援を基盤に、
個人および組織の可能性を社会的価値へと転換し、
価値創出と社会への実装を支援します。

料金

内容に応じて個別設計
（ご相談の上、設計いたします）

コミュニティ

人生の役割を大切に生きる人が互いの歩みを支え合う場

Traveler

学びと対話を通してそれぞれの人生
の歩みを整えるコミュニティ

Catalyst

より深い対話と実践を通して社会的
価値創出を目指すコミュニティ

使命に生きる人が互いの航海を支え合う場として運営しています。

対話の進め方

1

現状を言葉にする

いま何が起きているのか、どのような判断を考えているのかを丁寧に整理します。

2

視点を広げる

出来事を構造的に整理し、複数の視点から状況を見立てます。

3

自分の軸を確認する

価値観や役割を言語化し、自分の判断基準を明確にします。

4

次の一歩を決める

無理のない一歩を決め、現実の行動へとつなげていきます。

ベルーフのコーチングおよび対話支援は、ICF（国際コーチング連盟／International Coaching Federation）の倫理規定に準拠しています。守秘義務を前提としたパートナー関係のもと、安心して対話いただける環境を整えています。

| ベルーフの約束

ベルーフの対話は、
安心して思考を深められる場であることを大切にしています。

そのために、私たちは次のことを大切にしています。

- ・ 守秘義務を最優先にします
- ・ 答えを押しつけることはありません
- ・ 依存関係を生まない関わりを大切にします
- ・ その人自身の判断軸を尊重します
- ・ 長期的な視点で伴走します

対話は、
人生や仕事の重要な意思決定に関わる時間です。

だからこそ、
安心して言葉を交わせる関係を大切にしています。

原 裕二

Master Coach / Project Designer

2002年より20年以上にわたり、対話を軸に人材育成と組織支援に携わる。文化・芸術、社会起業、投資分野に関わる実践者や経営者の意思決定に伴走してきた。

非営利、国際協力、震災復興、経営支援など多様な現場で、本質的な価値を言語化し、それを社会へ届ける取り組みに携わってきた。

2009年よりセブ島での国際協力プロジェクトに参画し、地元団体のパートナーとして活動。

東日本大震災以降は、被災地において行政関係者のパートナーとして福祉プロジェクトに携わり、現在も地元法人の相談役として継続的に関与している。

2014年以降は助言者のパートナーコーチとして、延べ約3,000名の投資家育成およびコミュニティ運営に携わる。

現在は株式会社ベルーフ代表として、責任を担う個人および組織の意思決定に伴走している。

所属

(一財)生涯学習開発財団認定マスターコーチ

国際コーチング連盟 (ICF) 認定プロフェッショナルコーチ (PCC)

日本エグゼクティブコーチ協会会員

PROFILE

原 奈々子

CO-FOUNDER / Research & Education

キャリア発達およびウェルビーイングを主題に、個人が役割を見出し、他者との関係性の中で発達していく過程を研究してきた。

とりわけ、支援的他者との関係性が個人の発達過程に与える影響を重要な研究視点としている。

歴史学および教育学を専攻し、修士（文学）・修士（学術）の二つの学位を取得。中学校・高等学校社会科専修免許を有し、公立中学校、私立中高一貫校、難関校進学を支える個別学習指導など、20年以上にわたり教育実践に従事してきた。

セブ島における国際協力プロジェクトでは、地元団体や医師団、日本の歯科医師と協働し、貧困地域における教育支援および医療・歯科衛生活動に携わる。

ベルーフにおいては、研究と教育実践を基盤に、対話と支援のあり方を理論的視座から支えている。

対話を通じた変化の記録

K.K様（法人代表）

- 課題** 日々の意思決定に追われる中で、「自分が何を大切にしているのか」を改めて言葉にする時間が必要だと感じていました。扱うテーマは経営のほぼすべて。判断が増えるほど、自分自身の軸を確認する時間の重要性を感じていました。
- 変化** 「迷いがなくなった」というより、「迷っても立ち戻れる場所が自分の中にできた」感覚でした。重い決断を下した局面もありましたが、「腹を括って決める」ことができるようになったことが大きな変化です。
- 違い** 型や理屈ではなく、その人自身を信じて関わる姿勢。派手ではありませんが、後から振り返ったときに確かに残っている。依存を生まない関わりだと思います。

K.T様（法人代表）

- 課題** 将来やこれからの人生に対する漠然とした不安を抱えていました。「自分は何を武器にできるのか」「本当に通用するものがあるのか」そうした問いに、自信を持てずにいました。
- 変化** より大きな視点で未来を捉えられるようになりました。将来に向けて「何をすればよいのか」が具体的に見え、アクションが明確になったことで、ゴールに向かって進むイメージを持てるようになりました。
- 違い** 一方的に答えを示すのではなく、共に考え続ける姿勢。セッションを重ねるごとに、自分の内側にある思いや願いに気づかされます。目の前の課題だけでなく、自分が大切にしたい在り方や果たしたい役割に気づいていく時間であることが、他との違いだと感じています。

対話を通じた変化の記録

T.K様（法人役員）

課題 人生の折返し地点で、自分がどのように進みたいのか、進む道が何であるのかという迷いがありました。

どの方向に進んで行ったら良いのか、トンネルの中を手探りで進んでいるような感覚でした。

変化 セッションを通して、進む道が少しずつ明確になっていったことです。

自分が本当に情熱を持てるものが何なのかがわかり、迷いなく進めるようになりました。

また今やるべきことも明らかになり、集中して取り組めるようになりました。

違い 自分の考えや気持ちが置いてけぼりにされることなく、安心感がありました。

また否定されることが一切なく、これまで考えたことのなかった方向性へと視野が広がる問いを投げかけてくれました。いわゆる「コーチングされている」という感覚がありません。

対話を重ねる中で、自然と自分の考えが整理され、自ら気づき、自ら答えを見出し、前に進んでいく。この流れがとても自然で他にはない関わり方だと感じています。

H.M様（個人事業）

課題 思うように売上が伸びず、季節に左右される状況を変えたいと考えていました。

季節に偏った売上げの改善です。

変化 毎回の対話は、考えが整理され、頭も気持ちもスッキリする時間でした。

目先の浮き沈みで一喜一憂することなく、目標を持って前へ進むことができるようになりました。閑散期にこれまでにはなかった積極的な取り組みを行い、結果として売上也伸びて安定していきました。劇的な変化ではなくとも、一步一步と進んでいる感覚です。

違い 本人さえ否定してしまいそうな形にならないアイデアや、温めていた願いを否定されることなく話せる居場所を作っていただきました。すぐに取り組めるものや、まだ時間の要するものもありますが、その時に蒔いた種が、時間をかけて育っている感覚があります。コーチに依存させない関わり方が印象的なので、自分で考え行動できるようになったと思います。

匿名様（個人事業）

課題 人間関係の悩みと自分自身の心のあり方に課題があり、長い間どう克服すれば良いかを葛藤していました。

変化 問題解決への気づきからアプローチが明確になり、心の重荷が軽くなった感覚を得ました。

違い 教えず、否定せず、秘密を厳守し、落ち着いて最後までしっかり話を聞いてくださるところだと思います。

はじめての対話

ベルーフでは、
まず現在の状況を伺う対話の時間を大切にしています。

無理なご提案を行うことはありません。

対話を通して状況を整理しながら、
どのような伴走が可能かを一緒に考えます。

初回の対話では、
現在の状況や課題を伺いながら、
ご質問にもお答えしています。

対話を通して、
ベルーフの支援が適しているかどうかも含めて
一緒に考えていきます。

ご関心をお持ちの方は、
株式会社ベルーフのウェブサイト
お問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://beruf-co.com>

帆を張る人と、共に航海する。

人生には、
立ち止まり考える時間が必要なときがあります。

役割が変わるとき。
責任が大きくなるとき。
これまでの生き方を見つめ直すとき。

ベルーフは、
そうした節目にある人が、
自分の価値観を見つめ直し、
自らの役割を言葉にし、
次の一歩を決めていく対話の場です。

使命に生きる人を社会へ送り出し、
いつでも帰れる場であり続ける。

それが、
株式会社ベルーフの願いです。

使命に生きる人を社会へ送り出し、
いつでも帰れる場であり続ける。

会社概要

会社名	株式会社ベルーフ
代表	原 裕二 Founder & CEO / Master Coach
所在地	〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町8番1号 大阪梅田ツインタワーズ・ノース19階
TEL	06-7668-8623
MAIL	info@beruf-co.com
WEB	https://beruf-co.com
営業時間	平日10:00-18:00（完全予約制）
事業	マンスリーセッション（個人向け） エグゼクティブコーチング（法人向け） 伴走型コンサルティング コミュニティ運営 研究・教育事業（オンライン講座・コンテンツ提供）